

2022年8月15日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

事業計画及び成長可能性に関する事項の修正に関するお知らせ

当社は、昨今の事業環境の変化に基づいて売上・損益目標を見直した結果、2022年2月14日に公表した事業計画（『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』）を下記のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 売上・損益目標見直しの概要

【見直し後】

(百万円)

	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益(△)
2022年度通期(計画)	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期(目標)	<u>3,069</u>	<u>2,675</u>	<u>393</u>	<u>403</u>	<u>327</u>
2024年度通期(目標)	<u>3,645</u>	<u>2,478</u>	<u>1,167</u>	<u>1,174</u>	<u>970</u>

【見直し前】(2022年2月14日公表)

(百万円)

	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2022年度通期(計画)	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期(目標)	2,926	2,607	318	313	206
2024年度通期(目標)	3,362	2,475	886	874	678

2. 修正の理由

当社は、最近の業績動向等について検討した結果、2022年2月14日に公表しました『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』の修正を行うことといたしました。

修正の背景は、主として、2023年12月期および2024年12月期におけるロイヤルティ収入の増加によるものです。

主な増減要因は、以下の通りです。

2023年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想比143百万円(同4.9%)増加する見通しとなりました。これは主に、胃食道逆流症治療薬tegoprazan(一般名)の中国における販売開始により、当社が受け取るロイヤルティ収入が増加することによるものであります。事業費用につきましては、研究

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。

当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

開発活動の拡大に伴う人件費および施設管理費の増加等により前回発表比68百万円（同2.6%）増加する見通しとなっております。以上の結果、2023年12月期の業績予想を事業収益3,069百万円（前回発表予想値2,926百万円）、事業費用2,675百万円（同2,607百万円）、営業利益393百万円（同318百万円）、経常利益403百万円（同313百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益327百万円（同206万円）に修正いたします。

2024年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想比283百万円（同8.4%）増加する見通しとなりました。これは主に、2023年12月期に引き続いてtegoprazanの各国における売上が伸長し、当社が受け取るロイヤルティ収入が増加することによるものであります。事業費用につきましては、前回発表比3百万円（同0.1%）増加する見通しとなっております。以上の結果2024年12月期の業績予想を、事業収益3,645百万円（前回発表予想値3,362百万円）、事業費用2,478百万円（同2,475百万円）、営業利益1,167百万円（同886百万円）、経常利益1,174百万円（同874百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益970百万円（同678万円）に修正いたします。

2022年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想からの変更はありません。

当社は、今回公表する事業計画の修正に基づき、当社の企業価値の向上を目指した事業活動を進めてまいります。今後、当社の事業環境の変化等により修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

※修正箇所は、次ページ以降をご参照下さい。

以 上

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

(修正箇所一覧表)

修正箇所	修正前	修正後
<p>今期の業績予想および今後の業績目標（P7およびP55（P7と同一の内容を再掲））</p>	<p>（※表内）</p> <p>計画 2022年12月期 為替想定（米ドル/日本塩） <u>110.00</u></p> <p>目標 2023年12月期 事業収益 <u>2,926</u> 事業費用 <u>2,607</u> 営業利益 <u>318</u> 経常利益 <u>313</u> 親会社株主に帰属する当期純利益 <u>206</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>110.00</u></p> <p>目標 2024年12月期 事業収益 <u>3,362</u> 事業費用 <u>2,475</u> 営業利益 <u>886</u> 経常利益 <u>874</u> 親会社株主に帰属する当期純利益 <u>678</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>110.00</u></p>	<p>（※表内）</p> <p>計画 2022年12月期 為替想定（米ドル/日本塩） <u>125.00</u></p> <p>目標 2023年12月期 事業収益 <u>3,069</u> 事業費用 <u>2,675</u> 営業利益 <u>393</u> 経常利益 <u>403</u> 親会社株主に帰属する当期純利益 <u>327</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>125.00</u></p> <p>目標 2024年12月期 事業収益 <u>3,645</u> 事業費用 <u>2,478</u> 営業利益 <u>1,167</u> 経常利益 <u>1,174</u> 親会社株主に帰属する当期純利益 <u>970</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>120.00（上半期） 125.00（下半期）</u></p>
<p>事業収益計画の概要（P56）</p>	<p>（※図（棒グラフ））</p> <p>2022年 ロイヤルティ <u>1,398</u> その他 <u>1,207</u></p> <p>2023年 事業収益 <u>2,926</u> ロイヤルティ <u>1,718</u> その他 <u>1,208</u></p> <p>2024年 事業収益 <u>3,362</u> ロイヤルティ <u>1,887</u> その他 <u>1,475</u></p> <p>（※説明テキスト）</p> <p>2022年 テゴプラザンの韓国売上拡大により販売ロイヤルティで<u>1,398</u>百万円を見込む その他、テゴプラザンの中国での上市によるマイルストーン受領等で<u>1,207</u>百万円を見込む</p>	<p>（※図（棒グラフ））</p> <p>2022年 ロイヤルティ <u>1,554</u> その他 <u>1,051</u></p> <p>2023年 事業収益 <u>3,069</u> ロイヤルティ <u>1,855</u> その他 <u>1,214</u></p> <p>2024年 事業収益 <u>3,645</u> ロイヤルティ <u>2,007</u> その他 <u>1,638</u></p> <p>（※説明テキスト）</p> <p>2022年 テゴプラザンおよび動物薬の売上拡大により販売ロイヤルティで<u>1,554</u>百万円を見込む その他、テゴプラザンの中国での上市によるマイルストーン受領等で<u>1,051</u>百万円を見込む</p>

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

修正箇所	修正前	修正後
	2023年 販売ロイヤルティ <u>1,718</u> 百万円を見込む その他、導出済みプログラムのマイルスト ンや契約一時金等で <u>1,208</u> 百万円を見込む 2024年 テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、 販売ロイヤルティ <u>1,887</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザン（日本）を含む契約 一時金等で <u>1,475</u> 百万円を見込む	2023年 販売ロイヤルティ <u>1,855</u> 百万円を見込む その他、導出済みプログラムのマイルスト ンや契約一時金等で <u>1,214</u> 百万円を見込む 2024年 テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、 販売ロイヤルティ <u>2,007</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザン（日本）を含む契約 一時金等で <u>1,638</u> 百万円を見込む

※修正後の『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画 2022-2024』の修正箇所を抜粋したものを次ページ以降にお示しします。今回の修正箇所には下線を付しております。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
 当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

【2022年8月15日修正】

事業計画および成長可能性に関する事項 (2022年12月期～2024年12月期)

中期経営計画2022-2024

2022年2月14日 東証ジャスダック グロース (※) : 4579

※ 2022年4月の市場区分変更に伴い東証グロースとなります。

ご注意 : 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



修正前後の差異に関するご説明

事業計画および
成長可能性に
関する事項

RaQualia
innovators for life

単位：百万円

見直し後 <small>2022年8月15日</small>	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期（目標）	3,069	2,675	393	403	327
2024年度通期（目標）	3,645	2,478	1,167	1,174	970

見直し前 <small>2022年2月14日公表</small>	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期（目標）	2,926	2,607	318	313	206
2024年度通期（目標）	3,362	2,475	886	874	678

2022年

変更なし

2023年

事業収益が前回発表比143百万円（同4.9%）の増加。ロイヤルティ収入およびマイルストーン収入の伸長を見込む。事業費用は前回発表比同68百万円（同2.6%）の増加。営業利益および経常利益は、それぞれ、前回発表比74百万円（同23.5%）および同89百万円（同28.6%）の増加

2024年

事業収益が前回発表比283百万円（同8.4%）の増加。事業費用は前回発表から微増。営業利益および経常利益は、それぞれ、前回発表比280百万円（同31.7%）および同300百万円（同34.3%）の増加



RaQualia
innovators for life

事業計画

事業目標・収益計画・事業費用・成長戦略等

※修正後の『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』の修正箇所（P7（同一内容をP55に再掲）、およびP56）を抜粋したものを次ページ以降にお示しします。今回の修正箇所には下線を付しております。



今期の業績予想および今後の業績目標

事業計画および
成長可能性に
関する事項

2022年12月期は**事業収益2,605百万円**を見込む

2022年から2023年にかけては、2つのプログラムで**自社開発を進めるため事業費用が増加**するが、安定的な事業収益の確保により**3期連続の営業黒字**を見込む

単位：百万円

	実績	計画	目標	
	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年 12月期
事業収益	2,776	2,605	<u>3,069</u>	<u>3,645</u>
事業費用	2,068	2,184	<u>2,675</u>	<u>2,478</u>
営業利益	707	420	<u>393</u>	<u>1,167</u>
経常利益	863	420	<u>403</u>	<u>1,174</u>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	755	342	<u>327</u>	<u>970</u>
為替想定 (米ドル/日本円)	110.00	<u>120.00 (上半期)</u> <u>125.00 (下半期)</u>	<u>125.00</u>	<u>125.00</u>



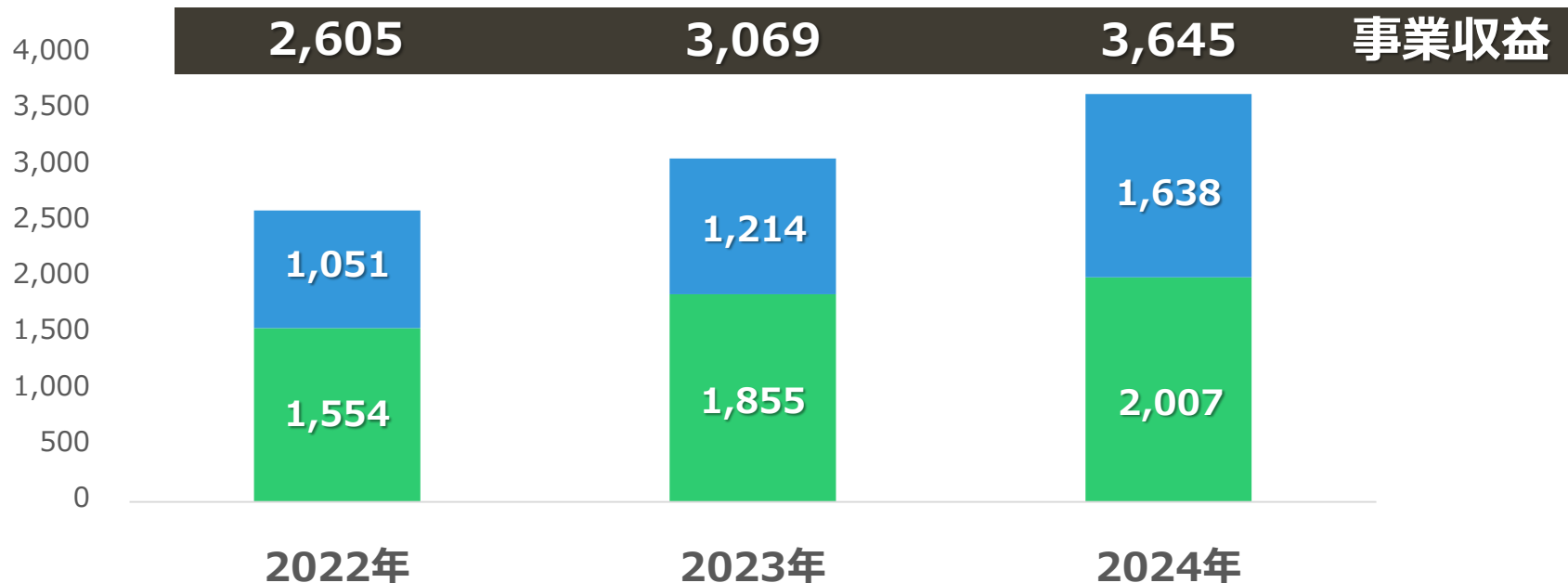
事業収益計画の概要

事業計画および
成長可能性に
関する事項

RaQualia
innovators for life

■ ロイヤルティ ■ その他（契約一時金・マイルストーン）

単位：百万円



2022年

テゴプラザンおよび動物薬の売上拡大により販売ロイヤルティで1,554百万円を見込む
その他、テゴプラザンの中国での上市によるマイルストーン受領等で1,051百万円を見込む

2023年

テゴプラザンを中心に上市品が堅調に伸び、販売ロイヤルティ1,855百万円を見込む
その他、導出済みプログラムのマイルストーンや契約一時金等で1,214百万円を見込む

2024年

テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、販売ロイヤルティ2,007百万円を見込む
その他、テゴプラザン（日本）を含む契約一時金等で1,638百万円を見込む